

# ペットと一緒に避難、あなたはどうする？

災害が起きたときのことを想像して、自分もペットも守る準備をしましょう。  
想像力が何よりの備え。避難行動を時系列で確認し、防災・減災力を高めましょう！

さあ、想像しよう！

大雨です。  
河川氾濫や浸水、土砂崩れなどの  
危険が高まっています。  
あなたは自宅でペットと一緒に  
過ごしているけれど…

## 状況確認

- ハザードマップを確認する
- 天気予報や避難情報などを確認する(注意報や警報など)
- 避難する準備を始める(危険な場所にいる場合)

▶まずは飼い主さんが  
落ち着いて  
行動しましょう。



日頃の備えを  
チェック

- 避難用品を用意している(飼い主用(家族分も)・ペット用)
- 情報入手できる備えがある(TVやラジオ、スマホ[天気や災害情報アプリ]、予備バッテリー等)
- 首輪やマイクロチップなど、ペットの情報がわかるものを準備している(健康情報なども)

## 避難の判断

- 警戒レベル3のうちに避難完了  
※災害は急に進行する時も！  
安全なうちに早めの避難を！
- 置かれた状況で、一番安全に  
避難できる場所を選択する

▶ペットの避難は時間も  
手間もかかります。  
早めの判断を  
心掛けましょう。



- 避難場所や預け先を複数確保している(指定避難所、安全な親戚・友人宅、ペットホテル、動物病院など)
- 避難行動を誰に共有するか決めている(家族や地域など)
- 持ち出すものの優先順位と保管場所を決めている

## 避難開始

- 確実に安全な避難方法を選択する(徒歩や車など、無理はしない)
- 危ない場所には近づかない(川や水路、橋やアンダーパス・崖など)
- 家族の人数や状況に見合ったグッズを持ち出す



- 安全な避難ルートを把握・訓練している(散歩や避難訓練)
- 危険な場所を把握している(ハザードマップや周辺の環境要因)

日頃からペットに  
信頼される関係性を  
築くことが大切。



▶ 山形県ペット同行避難マニュアル



## 避難場所へ到着

- 避難先のルールを守る(受入体制やペットの避難場所)
- ペットが落ち着いて過ごせる  
飼養環境を整える
- 飼い主同士や地域住民と  
協力して避難所を運営する

▶避難先で必要な  
ペット用品は  
自分で準備しましょう。



- 普段からキャリーやケージに進んで入る練習をしている
- 決められた場所で排泄ができる(オムツを着けることに慣れている)
- ほかの人や動物を怖がらない
- 一緒に協力し合えるような飼い主仲間がいる(共助の仲間)

こちらもチェック！▶▶ あなたの身近な防災情報 ▶▶ こちら防災やまがた！

▶▶ 環境省 ペットの災害対策

